

2025 年度第 1 回執行理事会議事録

日程：2025 年 7 月 7 日（月）18:30-20:10【WEB 会議】

出席：山路 敦，杉田律子，亀高正男，内野隆之，岩井雅夫，内尾（保坂）優子，大坪 誠，尾上哲治，加藤猛士，小宮 剛，坂口有人，高嶋礼詩，辻森 樹，細矢卓志，松田達生，矢部 淳，山口飛鳥
監事：山本正司，岩部良子

事務局 澤木

欠席：星 博幸，

＊定足数（過半数：10）に対し，執行理事 17 の出席

＊前回 24-14 議事録案は，本執行理事会にて承認された．

報告事項（理事会報告の確認）

1. 全体的報告

- ・ 6/15 に自然史学会連合の総会がオンラインで開かれた．国立沖縄自然史博物館の招致活動に積極的に参加していることなどが紹介された．今年度の講演会・体験教室が 11/1 に島根大学エスチュアリーセンターで開催されるので（講演会はハイブリッド），協力頂ける学会は申し出てほしいとのこと．
- ・ 熊本大会期間中に執行理事会を対面で開催予定．

2. 運営財政部会（加藤・細矢）

1) 総務委員会

<共催・後援依頼，他団体の募集，連絡等>

- ・ 地学オリンピック日本委員会より 2025 年度の協賛団体加入依頼があり，承諾した．協賛金 4 口（20 万）送金予定．
- ・ 第 66 回東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の候補者推薦依頼があった（10/10 締切）（学会締切 9/12）【→ニュース誌，geo-flash 掲載】
- ・ 2025 年度朝日賞候補者推薦依頼があった（8/26 締切）（学会推薦 8/1）【→ニュース誌，geo-flash 掲載】
- ・ 第 47 回（令和 7 年度）沖縄研究奨励賞推薦依頼があった（9/30 締切）（学会推薦 9/1）【→ニュース誌，geo-flash 掲載】
- ・ ヒマラヤ野外実習プロジェクトより 2025 年度活動（2026 年 3 月実施予定の野外実習プログラム）に対する学会推薦の希望が寄せられた．緊急時連絡体制と参加希望学生の教官・大学への届け出に関しどのようなになっているかを先方に問い合わせた上で対応を検討することとした．

<会員>

1. 今月の入会者（2 団体，94 名）

賛助会員（2 社）株式会社テクノアース，八洲開発株式会社

ジュニア会員（1 名）花田達也

正会員（93 名）

一般会員（10名）浅森浩一，Abdelrahman Yasser，出本紀子，櫻井健一，瀬戸口怜子，高林佑灯，
Dandar Otgonbayar，花室孝広，本宮圭悟，山田茂昭

学生会員（学生会員（83）単年度：29，2年パック：34，3年パック：19，チェック無し（不明）：1）新
井仁菜，荒木 悠，石井義弘，泉 憲志郎，板倉義空，市澤佑太，井藤隼斗，岩田琉空，上岡竜貴，鶴
澤直己，梅宮穂花，榎村彩羽，大曾根司昂，大部悦子，岡田 花，垣内拓馬，川口昂大，河端康佑，
木内翔太，清原 愛，熊谷汐莉，権藤洸人，齊藤大晃，坂元 翔，坂元伸晟，佐藤碧人，佐藤久遠，
嶋田 翔，清水 空，庄司瑞輝，正田陽宏，白井大地，菅 敦成，杉本健人，鈴木康平，関川真佑
子，関谷優輝，高見柊二，瀧本秀男，武富真由，田次将太，田邊凌雅，俵 直弥，塚田結衣，土田
和輝，徳川 聡，豊留一輝，永井嵩也，中澤明子，中村 領，中屋敷実春，中山雄介，鳴海慎人，西
山 烈，橋本周汰，橋本優生，畑中 衛，濱垣貴也，濱野裕大，日比絵里奈，日比野翔吾，平井 悠
河，平田悠馬，福田颯亮，福田 成，福原将太，星 恒太郎，堀田大翔，松井和己，松原美友，三木
志緒乃，皆川泰輝，Munusamy Annadurai Swarnaa，村山 療，室井颯太，山内大樹，山口純平，山田
陽翔，山中壮馬，八幡伊織，吉田恵太，吉田雄博，LIAO Xin

2. 今月の退会者：8名

正会員シニア（1）松岡弘和

正会員一般（7）青木夢葉，石川圭一郎，河崎 陸，矢口朔子，池津雄地，鈴木岳斗，大島温志

3. 今月の逝去者：2名

正会員シニア（2）古沢 仁（逝去日：2023年9月2日），井上 茂（逝去日：2024年8月7日）

4. 2025年6月末会員数

賛助：37，名誉：33，ジュニア会員：6，正会員：3034〔うち一般1971，シニア886，学生177〕合計
3110（昨年比-76）

<会計>

- ・ 自然史学会連合 2025年度分担金（20,000円/年）を納入した。

<その他>

- ・ オンラインストレージの利用開始について：事務局のPCにTEAMSの機能を追加して，理事会，執行
理事会，事業部会の委員会と専門部会，その他の委員会や各支部を対象として，TEAMSを共有サーバ
として文書の保管や交換等に利用していただく。容量は10GBを上限として，各委員長，部会長，支
部長等から利用希望を募る。
- ・ 事務局の有給休暇取得促進による事務局休業日について：現在は事務局員2名が交代で勤務し，平
日は誰かが対応できるようにしているが，今後は同時に休む日を設ける。直近では，休日に挟まれた
9/22（月）を有給休暇取得促進日とし事務局を休業するなど，飛び石で少し長い連休となる日を有給
休暇取得促進日として設定する予定。休業日については，メールマガジンなどで周知する。

3. 広報部会（坂口・内尾・大坪・松田）

1) 広報委員会（坂口・内尾）

- ・ ホームページリニューアルについて，業者からサイトマップの整理案が提出された。
- ・ 地質学者に答えてもらおう（Q&A）のコーナーの担当を一部シニア会員にお願いする予定。

4. 学術研究部会（辻森・尾上・高嶋・山口）

1) 行事委員会（高嶋・山口）

- ・ 2025 熊本大会：講演申込受付中（7/9 締切）。大会参加登録，巡検の申込受付を 6 月末より開始した（9/1 締切）。7/12（土）行事委員会プログラム編成会議を予定。展示関係申込状況（7/4 現在）：企業展示 7 社，7 小間（検討中 1 含む），パネル小間 2 社 2 小間，書籍販売 4 社 6 小間。
- ・ 2027 つくば大会：7/14（月）LOC 会議&つくば国際会議場現地見予定。高嶋行事委員長，事務局（澤木）出席予定。
- ・ その他：2023 京都大会の巡検案内書について，未完成 2 コース中の 1 件の原稿が投稿された。

2) 専門部会連絡委員会（尾上）

特になし

3) 国際交流委員会（辻森）

特になし

4) 地質標準化委員会（内野）

- ・ 産総研のシームレス地質図の凡例の時代名について，最新の地質年代表に対応した。（該当は，イブレシアン，バランジニアンの 2 か所）

5) 学術戦略 WG（尾上）

特になし

6) ショートコース WG（山口）

特になし

5. 編集出版部会（小宮・辻森）

1) 地質学雑誌編集委員会（小宮）

(1) 編集状況報告（2025 年 7 月 6 日現在）

- ・ 2025 年投稿論文：26（昨年比-6）〔内訳〕総説 1（和文 1），論説 13（和文 11，英文 2），報告 1（和文 1），レター 2（和文 2），ノート 1（和文 1），フォト 1（和文 1），巡検案内書 7 査読中 27，受理済み 4，入稿・校正中 8，公開 12

2) Island Arc 編集委員会（辻森）

インパクトファクターが 1.3 に確定。山路会長より，日本語要旨の添付を復活できないかという意見があったが，編集委員会としては，校閲や外国人著者原稿の日本語訳など負担が増えるため現実的ではないとの見解が示された。

3) 企画出版委員会（小宮）

特になし

6. 社会貢献部会（矢部・岩井・坂口）

1) 地学教育委員会（岩井）

特になし

2) 地質技術者教育委員会（加藤）

- ・ 地質系業界説明会の募集結果：応募総数は 48 企業・団体，うち 40 企業団体が対面説明会に参加（紹

介資料は大会 HP に掲載), 7 企業・団体が紹介資料を大会 HP に掲載されることとなった。学生・教員によるブース訪問を増やすよう, 理事はじめ会員に周知する。また, 熊本大会のスポンサー企業として 3 社からの応募をいただいた(7/31 締切で受付中)。

3) 生涯教育委員会 (矢部)

特になし

4) 地震火山地質こどもサマースクール (岩井)

サマースクールの公募趣旨・応募要項に関する説明会が 6 月 26 日に開催され, 福井県勝山市が参加。恐竜関係のスクーリング開催に際して運営の参考にしたいとのこと。質疑応答を経て, 本年度の御嶽大会にボランティア参加していただくことになった。

5) 地質の日 (矢部)

特になし

7. その他執行理事会の下に設置される委員会及び組織

1) 利益相反マネージメント委員会 (亀高)

特になし

2) 若手育成事業検討 WG (内野)

特になし

3) 表彰制度検討 WG (亀高)

特になし

8. 理事会の下に設置される委員会

1) ジオパーク支援委員会 (矢部)

特になし

2) 地学オリンピック支援委員会 (坂口)

特になし

3) 支部長連絡会議 (杉田)

特になし

4) 地質災害委員会 (松田)

特になし

5) 名誉会員推薦委員会 (星)

特になし

6) 各賞選考委員会 (亀高)

特になし

7) ジェンダー・ダイバーシティ委員会 (山口)

特になし

8) 法務委員会 (亀高)

特になし

9) 若手活動運営委員会 (星)

特になし

10) その他

- ・ シニア会員活躍アンケートで、事務局の事務サポートを希望された関東在住の方に、これから作業依頼を打診予定。

9. 研究委員会

1) 南極地質研究委員会（委員長 大和田正明）

特になし

2) 法地質学研究委員会（委員長 川村紀子；杉田）

特になし

審議事項

1. シニア会員の活躍に関する事業（山路）

情報発信のできるシニア会員への新たなサービスのひとつとして、ニュース誌への寄稿を提案する。地質の重要な歴史を後世に伝えることを目的に「Geologist 物語」コーナーに投稿して頂きたい。まずは執行理事レベルで執筆依頼を行う。退会されたシニア会員でも適任者がいれば、その方の投稿も排除しない。

2. 選挙管理委員の選出と投票率向上のための施策について（亀高）

委員候補者に打診し、9月理事会に推薦予定。前回から電子投票システムを採用したが、投票率が低かった。投票率向上のために、前回の分析や電子投票が難しい会員への対応（例えば、紙での投票）についてより考えていく必要がある。会員番号不明のために電子投票を諦めた会員が一定数いると推測される。会員カードでの会員番号の確認を呼びかけるとともに、選挙の実施および投票の呼びかけをできるだけ早めに実施する。

監事コメント

（山本監事）ヒマラヤ野外実習プログラムの学会推薦については、事故の際、学会側の責任も問われる可能性があるため、緊急連絡体制、実施計画書、旅行業者なども含めしっかりと準備・計画されていることを確認した上で推薦をして欲しい。

（岩部監事）選挙の前回投票率が低かった原因の分析が必要ではないか。会員システムへの会員のログイン状況を確認し、その結果によっても対応は変わってくる。投票は会員すべての大切な権利なので、それを妨げる問題は早めに解消してほしい。

以上

2025年8月4日

一般社団法人日本地質学会

会長（代表理事）山路 敦

署名人 執行理事 亀高正男